

くまとり議会だより

平成28年8月発行

No.34

発行部数 17,000部 1部当たり12.3円で作成しています

発行／熊取町議会 編集／広報委員会
熊取町野田一丁目1番1号 ☎072-452-9023

祝 リオオリンピック
サッカー代表
室屋成 選手 (熊取町出身:北小、北中卒業)

作 六覺千手 (ろっかくせんじゅ)

大阪体育大学(熊取町)出身
・藤春 廣輝 選手(サッカー 日本代表)
・山本 篤 選手(パラリンピック 陸上 日本代表)
熊取町議会も応援しています!



七夕 in 煉瓦館



長池オアシス ハスマつり

もくじ
6月定例会

6月定例会	2・3ページ
一般質問	4～9ページ
視察・研修報告	10・11ページ
議会報告会意見・要望	11ページ
議会報告会日程	12ページ

9月定例会予定

議事の進み具合により、会議が終了している場合もあります。日程は変更する場合があります。直前にお問い合わせください。

傍聴にお越しく下さい

○会議はいずれも午前10時からです。
(9月27日(火)の議会運営委員会のみ
午後1時30分からです。)

- 本会議の日程 9月13日(火)・15日(木)・16日(金)
10月7日(金) 【予備日】9月23日(金)
- 委員会の日程 (別室で音声のみ)
【議会運営委員会】9月7日(水)・9月27日(火)
【事業厚生常任委員会】9月27日(火)
【総務文教常任委員会】9月28日(水)
【決算審査特別委員会】9月29日(木)・10月3日(月)・4日(火)
【予備日】10月5日(水)

6月定例会

6月8日(水)に開会、6月21日(火)に閉会しました。この議会では町長提案12件、議員提出議案3件を審議しました。

税条例の一部を改正する条例の専決処分
(全会一致)

再生可能エネルギー発電設備に係る固定資産税の軽減措置、平成28年度に取得した軽自動車税の税率の特例、個人番号の利用範囲などを改正。

平成27年度熊取町一般会計補正予算(第9号)専決処分
(全会一致)

地方創生加速化交付金一次申請8千万円がゼロ査定となったため歳入歳出予算総額から約9,087万円減額。

平成28年度熊取町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)専決処分
(全会一致)

平成27年度C型肝炎用の新薬の使用開始等により赤字となったため約4,912万円を前年度に繰り上げ充用したため。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づき個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 (全会一致)

老人医療費助成、身体障害者等医療費助成、ひとり親家庭医療費助成、子ども医療費助成及び健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務。

国際戦略総合特別区域における産業集積の促進及び産業の国際競争力の強化に係る町税の特例に関する条例の一部を改正する条例
(全会一致)

平成28年10月1日施行
B・N・C・T等に関連する企業等への税制優遇措置の範囲拡大等の改正。

「大阪府国際戦略総合特別区域における産業集積の促進及び産業の国際競争力の強化に係る事業計画の認定並びに法人の府民税及び事業税並びに

不動産所得税の課税の特例に関する条例」の一部が改正されたことによる改正。

工事請負契約の締結(北保育所大規模修繕工事)
(全会一致)

公布の日から施行
公布の方法
指名競争入札による契約
(契約の金額)
9,699万480円
(契約の相手方)
(大阪南工務店)

平成28年度熊取町一般会計補正予算(第2号)
(全会一致)

歳入歳出に1億5,544万円を追加する。
歳入では、基金繰入金1億2,492万円、地方創生加速化交付金2,190万円を追加。
歳出では、町長の給与を270万円減額。
増額は、委員会インターネット録画配信機器購入(129万円)、庁舎トイレの洋式化等(1,377万円)、第4次総合計画策定等(588万円)、熊取町PR動画等作成(750万円)、熊取創生プロジェクトチーム運営(49万円)、区長会館プロジェクター等購入(250万円)、小垣内公民館修繕補助(120万円)、ひまわりバス土日祝運行(734万円)、コミュニティソーシャルワーカー1名増(179万円)、保育所備品(198万円)、熊取コロッケ製造委託・PR経費(840万円)、和田山木橋改修(710万円)、スクールソーシャルワーカー1名増(147万円)、小学校パソコン・プリンター等購入(1,690万円)、中学校パソコン・プリンター等購入(1,017万円)、町民グラウンドトイレの洋式化・中央公園テニスコート人工芝張替(1,356万円)等。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
(賛成多数)

「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令」等の施行に伴い一部改正の必要が生じた。

反対討論 共産党

熊取町には家庭的保育事業等はないが、この条例は待機児童解消を口実に保育士の配置基準を緩和したものである。有資格者を3分の2置かなければならないとなっているが、定員超過や延長保育の受け入れで、認可定員を上回る分の職員を確保する場合は無資格者でよく、預かる時間が長いほど、定員を超過するほど、無資格者が増え、子供の命や発達を保障しないことに繋がる。無資格者ではなく有資格者での

保育を望む。

環境センター専用公用車(4tダンプ)の購入について (全会一致)

現有のダンプが14年を経過。新たなダンプを購入するもの。

指名競争入札

(契約の金額)

625万3,200円

(契約の相手方)

(株)西尾組

平成28年度下水道事業特別会計補正予算(第1号) (全会一致)

歳入歳出予算総額に755万円追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ13億7621万8千円と定めるもの。

主な補正は損害賠償金による返還金が発生したため。

平成28年度介護保険特別会計補正予算(第1号) (全会一致)

歳入歳出予算総額に194万9千円追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ

33億4,819万9千円と定めるもの。

主な補正は社会づくりソフト事業費交付金の活用により、住民運営による介護予防事業を行う等。

平成28年度下水道事業会計補正予算(第1号) (全会一致)

収益的支出に87万円を追加、9億7,380万1千円とする。

資本的支出に20万円を追加、5億954万6千円とする。

補正の主な理由は、人件費の変更と損害賠償によるもの。



長池オアシス ハスマつり

議員の態度表明(○賛成 ×反対 △退場) 態度が分かれたもののみ表示 (議長は、賛否同数の時のみ表明し、議案の成否を決定します)

6月定例会審議案件	議員名	文野	重光 議長	浦川	河合	坂上 昌史	阪口	二見	渡辺	服部	佐古	矢野	鱧谷	江川	坂上 巳生男
	会派	熊愛	熊愛	未来	守	未来	未来	公明	公明	新政	新政	新政	共産	共産	共産
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×

備考:日本共産党熊取町会議員団(共産)、熊愛クラブ(熊愛)、新政クラブ(新政)、熊取公明党(公明)、守クラブ(守)

意見書を採択

次の意見書を全会一致で可決し、政府など関係機関に提出しました。

○食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書

食は世界中の人々にとって大事な限りある資源である。世界では全人類が生きるのに十分な量の食べ物が生産されているにもかかわらず、その3分の1は無駄に捨てられている。よって政府において、国、地方公共団体、国民、事業者が一体となって食品ロス削減に向けて早急に取り組むことを強く求める。

○次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書

平成27年6月30日に閣議決定された「骨太の方針」の中で、次期介護保険制度改正に向けて、軽度者に対する福祉用具貸与等の給付の見直しを検討することが盛り込まれた。高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うことを強く求める。

○骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書

骨髄移植及び末梢血幹細胞移植は、白血病等の難治性血液疾患に対する有効な治療法である。しかし、ドナーが、検査や入院等で病院に出向くなどして仕事を休業した場合の補償は、現在行われていない。よって、政府に対し、骨髄移植等の一層の推進を図るため、ドナーに対する支援の充実に関し、ドナー休暇の制度化や補償制度の創設についての検討を強く要請する。

高齢者福祉・学童保育・ひまわりバス・談合事件！

新町政へ、政策提言！

文野 慎治



高齢者福祉の展開

問 地域包括支援センターを委託することにより、住民に不安が広がっている。対策は？

答 担当者が毎日行き来しコミュニケーションを取っている。町は後方支援し関わっていく。

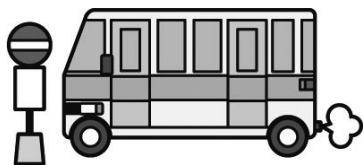
要望 過渡期であり、人の健康・気持ちを大切に丁寧な対応をお願いする。

学童保育と放課後学習

問 3月議会で、学童保育が指定管理者に委託される事になった。現行の学童保育に満足している父兄から、「何故急に？」「意見を聞いてくれているのか？」との不安が高まっている。対応は？

放課後学習の検討を進めながら学童とのコラボを視野に入れる。
ひまわりバスの駅前乗り入れについて
問 どのように進めていくのか？
答 ひまわりバスは、公共施設等への循環を目的とし、路線バスと役割を明確にしている。駅に乗り入れれば路線バスの経路圧迫に繋がらず、路線の縮小や減便が考えられる。
要望 従前からの答弁を繰り返している。切口を変えなければいけない。バス事業者の行政への期待は、ひまわりバスよりも外環の渋滞解消。ひまわりバスは公共施設の循環ならば、駅前には「駅下にぎわい館」がある。正に公共施設である。町の情報発信施設である。性悪説に立たず、社会実験

を実施し、南海との協議を進めて欲しい。



談合事件損害賠償金の回収について

問 損害賠償金を支払わない業者への対応は？

答 4月より顧問委任した弁護士の指示を得て、債権回収に取り組む。

要望 顧問弁護士変更は評価する。新たな体制のもと、損害賠償金回収が困難になっている現状を分析し、過去の時点ごとの対応も含めて検証し、公表するべき。今後の貴重な財産となる。

ため池管理・水路管理について
ため池の有効利用について
熊取にぎわい創造について

阪口 均



問 町内のため池の安全対策は？

答 本町が管理するため池は全部で81箇所ある。25年度から5箇所のため池の耐震診断を実施した。結果、すべての池において耐震性に問題はなかった。尚、今年度も1箇所調査を実施する。また、大阪府の新たなプランに基づき、今後27箇所のため池を診断する。

問 ゲリラ豪雨対策は？

答 各地区の水利団体と連絡を取り合い、ため池の水位の調整や、水路の堆積物の除去等事前対応をお願いしている。加えて本町職員によるパトロールなど図っていく。

問 見出川と住吉川の上流で川に竹や雑木が繁茂し、危険な箇所がある。

問 一度調査に行く。

問 町内のため池の安全対策は？

答 事業者から賃借料として収入を得ることができると考えている。

問 ちなみに昨年からの契約している発電場所のスペースや賃料は？

答 約3,600㎡で年間約151万円の賃料。

要望 池の面積はこんなものではないし、いくつかの池で契約ができたとしても相当な収入になるはず。できるだけ早く実現できるようにスケジュールで各地区への説明会を行ってほしい。

問 熊取にぎわい創造について「ゆめの森公園の今後のビジョン」①遊具の入れ替え②新設設備③駐車場有料化④軽トラ市場

太陽光発電はどうか？
事業から賃借料として収入を得ることができると考えている。
約3,600㎡で年間約151万円の賃料。
池の面積はこんなものではないし、いくつかの池で契約ができたとしても相当な収入になるはず。できるだけ早く実現できるようにスケジュールで各地区への説明会を行ってほしい。
熊取にぎわい創造について「ゆめの森公園の今後のビジョン」①遊具の入れ替え②新設設備③駐車場有料化④軽トラ市場
①現在の遊具はおおむね10年から15年の耐用年数である。更新の必要



情報公開と住民参加の促進（HPでの会議録公開など）、基金の有効活用、自主防災の活動に役立つ防災ハンドブックの作成を求める。

坂上 巳生男



情報公開と住民参加

問 自治会や住民団体からの要望に文書で回答し、HPで公開することが大切だ。現状はどうか。

答 自治会からの要望には文書で回答している。住民団体の要望にも適切に対応。HPでの公開は、個人情報が含まれるケースも多く、公開にはそぐわないと考える。

問 「わが町提案箱」への回答は公開されている。住民要望への回答は原則公開とすべき。

各種審議会への住民参加と議事録公表の状況を伺う。

答 会議公開指針の対象となつている審議会数が41件、公募委員が参加している審議会が3件、住民代表と明記されている審議会が13件。

会議録の作成（要点筆

記）を義務付けており、住民情報コーナーで閲覧できる。また、町ホームページにも掲載している。

要望 確かにHPで公表されているが、審議内容の分からない議事録もある。改善を求めたい。

「基金」の有効活用を



問 ふるさと応援基金が約1億円となった。また、文化振興財団の解散にもない、3億円が財政調整基金に積み立てられた。これらを有効に活用すべきではないか。

答 平成27年度末の「ふるさと応援基金」残高は9,689万円となった。この基金は協働のまちづくりを推進するために設置されたものであり、協働事業に活用している。文化振興財団解散に伴う返還金3億円は、もともと国から交付されたふるさと創生1億円に一般財源を加えてできた資産。財団が解散となつて戻ってきたが、「住民福祉の向上」に有効活用したい。

自主防災の活動支援

問 昨年9月にも質問したが、地域防災計画の概要版（防災ハンドブック）を作成して自主防災の活動を支援してはどうか。

答 防災計画を簡易にまとめることで、計画がより身近になる。近隣の状況を確認しつつ、自主防災に役立つマニュアル等を検討する。

地域防災強化について

熊取町の防災について

河合 弘樹



問 九州地方の熊本地震で今も尚、被災されている方がいるが、近畿地方でも今後30年以内の発生確率が70%程度の南海トラフ巨大地震が起こると予想されているが、熊取町の地域防災強化についてはどのような計画や取り組みをしているか？

答 東日本大震災の経験を踏まえ、平成24年及び平成25年に災害対策基本法が改正された。これに伴い本町の地域防災計画も平成26年度に大幅な修正を実施し、地域防災強化の一つとして消防団の充実・強化に積極的に取り組んでいる。平成26年度には、消防団用の無線受令機の整備を行い、平成27年には第五分団の車両を更新し、救助資機材搭載型消防ポンプ自動車

を更新すると共に、無線機や安全靴などの装備品を拡充した。防災技術を高めるため全ての自主防災組織がそれぞれの計画に基づき訓練を実施している。消防団は地域のことは自分たちが守るといふ高い士気のもと、積極的な活動を実施している。今後さらに地域防災力の強化を考えていく。



ヘルプマーク、ヘルプカードの導入で障がい者支援を！
災害時における避難施設のトイレ設備の充実を！
聴覚障がい者支援の充実を！

二見 裕子



障がい者支援について

問 ヘルプマーク導入は。

答 ヘルプマークは外見から分からなくても援助や配慮を必要としている

方々が、マークを携帯することで周囲に知らせて、支援や配慮を求めるもの。

東京都で導入以降、H

28年4月からは京都府で

も導入。有効性については認識しているが、広く

多くの方に知っていただき、理解されることが必要であるため、広域的な

取組を研究していきたい。

問 ヘルプカード導入は。

答 災害、緊急時など支援に有効。本人や家族、

ユニケーションの支援。

障がい者への理解促進の役割があると認識。個人

情報が悪用されないか、

情報収集、検証を行うなどの取組を進めている。

避難施設のトイレ設備について

問 洋式トイレの整備は。

答 避難所のトイレは大阪府の基準、避難所生活者100人に1基、合計

36基の洋式タイプの簡易トイレを備蓄。

問 マンホールトイレは。

答 し尿を下水道管路に流下されることができ

ため、臭気・衛生面で優

れ、廃棄が軽減。避難所の生活環境確保の方策として国の防災基本計画に

も位置付けされるが、整備には課題もあることから、簡易トイレの対応を

基本として、設置には調査・検討を進める。

聴覚障がい者支援について

問 新生児聴覚検査の実施は。

答 医療機関、助産師、療育施設など関係機関と

連携し、聴覚について支援が必要な乳幼児や保護者には、担当保健師が中

心となって支援に努め、

検査は、広域での調査・

研究を提案していく。

問 人工内耳装着者の支援は。

答 スピーチプロセスの買い替えは補装具に位置付けることが望ましい

と考えるので、国や府に支給品目の追加を要望し

ていく。ボタン電池についても他団体の実施状況を

を勘案し総合的に検討。



地方創生加速化交付金申請事業について

坂上 昌史



地方創生加速化交付金申請事業について

問 「熊取コロッケ」をどうブランド化していく

のか？その意義と効果

は？

答 「熊取コロッケ」のブランド化を産業の活性化の一つのメニューとして

とらえ広報紙やホームページにて広く公開する

とともに町内小売店にて販売を開始した。「熊取

コロッケ」のブランド化に向けた取り組みを端緒

とし、若年層の地域への愛着の醸成、地方創生人

材の育成を図っていくも

の。まずは試食して頂く

ことにより、地域に根

ざした熊取ブランドに育

って参りたいと考えてい

る。また、試食によるP

R効果を一層高めるため、

自動車の中で調理ができ

るケータリングカーを購

入し、車体には「熊取コ

ロッケ」をデザインした

ラッピングを施したもの

を考えている。

問 PR動画と情報誌の

作成事業の今後の展開方

法と目標は？

答 本町の魅力を再発見

できるような動画や若い

方が本町の暮らしをイメ

ージできる情報誌を、大

学生が中心となって作成

するもの。今後の展開方

法は、この事業で作成し

た動画および情報誌を、

町ホームページを始め、

様々な媒体を通じて発信

するとともに、イベント

等においても積極的に活

用する。学生の若い視点

で、本町の魅力や充実し

た子育て、教育環境をイ

メージして頂ける内容を

想定していることから、

町内の大学生を始めとし

た若い方へのプロモシ

ョンツールとしても、効

果的に活用して参りたい

と考えている。

問 地方創生の取り組み

の考え方について

答 地域コミュニティー

や、大学、住民団体など

の多様な関係者との協働

の街づくりの理念のもと、

豊かな自然に恵まれなが

ら府内中心部への良好な

アクセスを有する「大

都市近郊住宅都市」や3大

学・1研究施設のある府



介護保険における地域包括ケアシステム、総合事業について 第2次男女共同参画プランについて

鯉谷 陽子



地域包括ケアシステム

問 ケアシステムで定期巡回・随時対応型訪問介護看護などが制度化されたが進捗状況は？

答 本町においては、既存の居宅サービスで十分対応できていると考えており、第6期介護保険事業計画ではサービスの整備を行わないが、住民ニーズに応じ整備していきたい。

問 在宅医療の普及、医療と介護の連携は？

答 熊取町医療介護ネットワーク連絡会、ひまわりネットが中心となり在宅医療や医療介護の連携に取り組んでいる。往診を行う病院も3者から5者に増えている。

問 介護予防・生活支援の提供主体を「住民主体の主要なサービス」市町村事業に移行すると言う

が、60歳代から70歳前半の高齢者は、生活のため働く人も多く難しいと思うが平成29年4月に移行できるのか？

答 準備を進めている。年内に説明会を行い、住民向け冊子を作成、協議体を発足させたい。

問 住民主体のサービスは、地域における支えあいや地域づくりとして促進すべきでは？

答 今回の見直しを構築すべきと考えているが、地域づくりの観点も重要と考えている。



男女共同参画プラン

問 国は昨年、第4次男女共同参画基本方針を公表した。町の第2次男女共同参画プランの取り組みにおける審議会等への女性の登用は？

答 平成28年4月1日20.9%である。

問 国では27年度25.2%目標は30%以上になっている。管理職における女性の割合は？

答 管理職は、平成28年18.5%である。

問 国では、27年度14.5%で、目標は32年度末20%となっている。管理職の割合は熊取町のほうが進んでいる。小中学校における管理職の割合は？

答 平成28年25%である。平成25年と比較して6.2%増えている。

「教育のまち熊取」を全国に向けて発信せよ！ 「熊取創生！今こそ若者たちの社会参加を！」

浦川 佳浩



「教育のまち熊取」のブランド推進に向けて

問 「大人も子ども学べるまち」や「子ども達のキャリア教育の充実」を目的に、煉瓦館全館を使った職業体験イベントや各地で開催されている「サマーセミナー」等のワークショップを行い、他市とは違った取り組みの実施を検討すべきでは。

答 現在の学校教育や生涯学習での取り組みを積み重ね、クチコミなどで

■中学時代のキャリア教育について	
・覚えていない人の割合	60%
・役に立っていないと思う人の割合	60%
■キャリア教育授業で『覚えていること』の上位	
・職業人に仕事の話を書く	
・職業や仕事を調べる授業	
(厚労省：労働政策研究・研修機構調べ)	

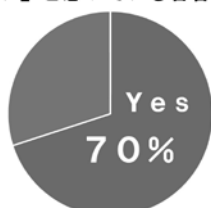
「住民主導」のまちづくりで「熊取創生」を

問 厳しい財政状況のもと、住民ニーズが多様化・複雑化する中、「協働の理念を活かした行政運営」への転換が必要となる。行政が中心に位置し町を動かす「住民参加」ではなく、住民みんなで社会を作っていく「住民主導」のまちづくりへの移行が必要だと思うが。

答 本町は地域コミュニティ活動が盛んであり、自治会加入率も比較的

広がっていくことが効果的なPRだと考えている。**要望** 他市も教育には力を入れていく。他市との優位性を認識し、従来とは違った取り組みを行う事が、更なる「教育のまち熊取」の推進に繋がる。是非実施を検討して頂きたい。

自分が参加しても『社会は変わらない』と思っている若者の割合



(2014年内閣府調べ)

要望 今後「住民との協働のまちづくり」の推進が益々必要となる。その核となる若者世代の社会参加を増やす為にも「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を見直し『住民が社会参加する事で町が変わる』と思える指標を「見える化」して欲しい。

子どもの貧困対策について 国民健康保険（広域化）について

江川 慶子



子ども貧困対策について

問 統括部署はどこか。

答 健康福祉部と教育委員会が連携しながら児童相談事業を所管している。

健康福祉部子育て支援課がコーディネートしていることから「子育て支援課」が統括する。

問 学習権、進路保障、食の保障、経済的保障は？

答 「熊取町子ども・子育て支援計画」に基づいて行う。

問 具体的対策は？

答 実態調査は大阪府が行い市町村の役割分担を明確化する予定。連携を図る。子ども食堂について調査研究を進めていく。

要望 「熊取町子ども・子育て支援計画」は国が行う新制度に向けたものであり、貧困問題の視点での計画書ではない。大

阪は全国で2番目に高い貧困率である。具体的な施策を求める。



国民健康保険について

問 平成30年に大阪府に統合される。自治体の意見がどう反映されているか？

答 府の調整会議やワーキンググループがおこなわれている。熊取町が属する南部ブロックの4町の意見は代表である岬町を通して行う。

問 大阪府が国よりも先に進める保険料の統一化についてどう思うか？

答 医療施設の格差がある中で不利利益は交通手段も整備されており医療機関と所在地との相関関

係は少なく不利利益を被ることはない。

問 移行期の赤字分を一般会計から繰り入れは？

答 受益と負担の公平性を確保するため特別会計の中で行う。

問 健診事業は医療費抑制に頑張ってきたが、府一元化により意欲が下がるのではないか？

答 今まで通り行う。

要望 府が行う財政共同安定化事業は町の拠出超過が続いている。町が行う職員の事務は全く変わらないのに、保険料だけ府内統一では住民にとって不利になる。住民の立場に立って府内統一保険料に反対を求める。



被災者支援システムで災害に強いまちづくりを！ 防災・減災対策として路面下空洞調査を！ 食品ロス削減に向けた国民運動の展開を！ 読書通帳で読書活動の推進を！

渡辺 豊子



災害に強いまちづくり

問 東日本大震災直後のH23年6月議会で「被災者支援システム」の導入について質問した。平時より災害時における迅速な行政サービスの提供ができるシステムを準備しておくことは極めて有益

である。被災者支援システムの導入についてどう検証しているか。

答 大阪府下導入済みの自治体は20団体。有効性は高い。府の防災ネットの来年度の更新に合わせ積極的に検討する。

問 避難所運営模擬ゲーム（HUGハグ）の取り組みについてはどうか？

答 職員対象にH29年2月にハグを使って訓練を実施する予定。今後、各自主防災組織の訓練等にも実施する。

路面下空洞調査について

問 道路の陥没による事故を未然に防止するため、路面下空洞調査を実施してはどうか？

答 府などからの情報を共有し実施の検討について調査検討していきたい。

食品ロス削減について

問 食品ロスとは食残しや賞味期限切れ等で、本来食べられるのに捨てられてしまうもの。日本では年間642万トンが食品ロス。そのうち半分は家庭から出ている。一人ひとりの意識改革を促すために、食品ロス削減に先

駆的に取り組んでいる自治体がある。本町も削減目標を設定して取り組みを推進してはどうか。

答 環境教育の推進、町広報紙によるPRを行いながら可燃ごみ全体の削減に注力したい。

読書通帳について

問 子どもたちが自分の読書記録を残しながら読書を推進する取り組みとして読書通帳を作成してはどうか？町立図書館での読書通帳導入についてはどうか？

答 子ども読書活動の推進、大人の方の図書館利用促進に繋がる読書通帳の導入を進めていきたい。本議会の補正予算に計上している。

問 何部作成するのか？

答 町内の中学生以下対象に2,000部。その他希望者に1,000部。



永楽ゆめの森公園の、夏の対策は？ これからのスポーツ振興をどう考えるのか？ 職員の働く意欲を向上させるためには？

佐古 員規



永楽ゆめの森公園の夏の対応について

問 夏の熱中症対策は？

答 日除け施設として、管理棟や7つの四阿、木陰がある。また、ミスト装置を設置する。更に、熱中症予防ポスターや暑さ指数掲示等来園者への注意喚起を行う。

問 収益事業はどうか？

答 現在自販機を4台設置し、年間230万円の収入がある。また、駐車場やスケボー広場等を活用した広告事業、駐車場の有料化など、利用アンケート調査結果も踏まえ、検討を進めたい。

問 残事業の今後は？

答 ミスト装置設置や駐車場有料化にむけた検討と、渋滞対策として駐車場拡張やひまわりバスの運行改善を行うなど、指定管理者制度導入へ向け

取組みを進めたい。
スポーツ振興について

問 大きな大会招致など現状と今後は？

答 今年度では武術太極拳ジュニアオリンピックを始め数多くの種目の大会等を予定している。今後も、スポーツ関係団体等と連携し、より多くの大会招致に取組みたい。

問 収益事業の考えは？

答 ひまわりドームでは、主に施設使用料や教室開催の受講料、自販機などがある。引き続き、指定管理者とともに新たな収益事業を検討したい。

問 スポーツ振興助成金の活用と助成事業は？

答 地域スポーツ施設整備助成やスポーツ活動助成等は要件に合わず実績はないが今後、toto助成金等鋭意研究したい。

進捗は？
まずスポーツコミッションについて、大体大

問 ションについて、大体大

のご協力を得て庁内各関係部署合同での勉強会を始めた。今後広域スポーツ連携の果たす役割など調査研究に取組みたい。



職員の働く意欲について

問 トップも代わり、職場環境など業務内容や職員の負担はどうか？

答 健康管理面を考慮し事務の効率化や職員評価制度導入等、引続き働き甲斐のある職場づくりを進めたい。

自転車条例について 福祉避難所の指定について

矢野 正憲



平成25年当時、小学生男子が夜間自転車で帰宅途中に、歩行者の女性と正面衝突し、はねられた女性は頭蓋骨骨折で意識が戻らず寝たきりになった。この事故をめぐって、神戸地裁が小学生の母親に約9,500万円の賠償を命じた。

問 この事故をきっかけに

兵庫県で昨年の10月から条例が施行され、大阪府においても今年の4月から「自転車保険の加入義務化」を柱とした「自転車の安全で適正な利用促進に関する条例」(自転車条例)が施行されている。

問 熊取町行政としての取組みについて

答 大阪府自転車条例については、「自転車の安全利用」「交通安全教育」の向上「交通安全教育の充実」「自転車保険の加入義務化」の4本柱から入義務化」の4本柱からなる。

問 このうち「安全利用」「マナーの向上」「安全教育」に対する取組みは、泉佐野警察と連携し保育所・幼稚園・小中学校において、毎年自転車運転マナーを含めた交通安全教室・交通安全指導・交通安全講習会を実施している。

また高齢者に対しても、シルバー人材センターや長生会連合会の総会等で警察と連携し安全運転講習会を開催している。「自転車保険の加入義務化」は、7月からの施行となる。「広報くまとり」7月号の広報記事・各自治会におけるチラシの回覧・ホームページ等でも多く保険加入してもらえるように、住民への周知をしっかりと行う。

入義務化」の4本柱からなる。

問 社会福祉施設と災害時における福祉避難所の協定締結を考えるべきではないか？

答 現在、ふれあいセンターを福祉避難所として指定をしているが、社会福祉施設は要配慮者を受け入れる事に係る物資・器材・人材が整っている。

問 今後は避難が想定される要配慮者数の精査を進め、各施設における利用状況、収容可能人数などの調査、受入れ施設側の意向等について確認調整を進めていきたい。

今後は避難が想定される要配慮者数の精査を進め、各施設における利用状況、収容可能人数などの調査、受入れ施設側の意向等について確認調整を進めていきたい。



「地域包括支援センター やさか」を見学

7月14日(木)

今年度から「地域包括支援センター」が「弥栄福祉会」に委託されました。今回、熊取町議会議員12名が、「地域包括支援センターやさか」を見学しました。

岩田俊二理事長からは、弥栄園全体の歴史や施設の概要の説明がありました。

また井上謙二部長からは「地域包括支援センター」の施設を実際に回りながら、個人情報には細心の注意を払っている事、相談対応における連携等の説明を受けました。



「地域包括支援センターやさか」では、「訪問を重視し機動力のある原付バイク等を配置」、「電話がつかない状態をなくすため回線を多くしている」、「虐待事案は48時間内で対応」、「土曜日も開設」等環境を整えており、利用件数も大幅に増えているとの説明を受けました。

今後、「日常生活支援総合事業」への移行にあたり、地域を巻き込んで積極的な対応も検討しているようです。

熊取町地域包括支援センター
やさか

TEL.072-453-8330

FAX.072-453-8388

都市計画道路建設促進特別委員会

町道等の道路整備計画に係る研修会を開催

平成28年5月13日、都市計画道路建設促進特別委員会主催で、全議員が参加し研修会を開催しました。

研修会は、計画決定からその実現まで、長い年月を費やす「道路整備計画」について、議員各自が、現時点での現状・問題点・見通し等、の情報を共有する必要性から、事業部の協力を得て実現しました。

資料は、①熊取町道認定路線図 ②都市計画図 ③第2次道路整備計画 ④熊取町内都市計画道路図 ⑤都市計画道路「大阪岸和田南海線」道路改良事業 ⑥熊取町道路舗装修繕計画図 ⑦歩道舗装修繕年次計画進捗図 等が示され、担当者から詳細な説明を受けました。

議会として、今後熊取町の道路行政を進めて行くにあたり、有意義な研修会となりました。

議会報告会での質疑応答

平成 28 年 5 月に実施した議会報告会における質疑応答の一部です

- (質問) ひまわりバス、以前は和田にも停留所があった。年を取って車に乗れなくなると不安。効率よく廻って欲しい。
- (回答) これからの、ルートの見直しの時に検討する。
- (質問) 学童保育に指定管理者制度が導入されることになった。内容や問題点は？
- (回答) 今後、具体的な指定管理審査基準の制定や審査が行われるが、学童保育の質が確保されるよう議会も監視していく。
- (質問) 熊取駅西開発の計画内容と進捗状況は？
- (回答) ロータリーと進入路を作る開発で、開発に掛かる費用は熊取町が3割、泉佐野市が7割を負担する協定を結んでいる。進捗状況はこれから具体的な検討をしていく。
- (質問) ふるさと応援寄付金が約1億円あったようだが、どのように有効活用するのか？
- (回答) 目的が限定されていない寄付金については、予算委員会でも質疑された。議会からも福祉や子育て支援等に活用できるように意見している。
- (質問) 熊本大分地震が発生したが、熊取町に活断層はないのか？
- (回答) これまでの調査の結果では、活断層はない。
- (質問) エアコン、洋式トイレは各会派が要望しているが、学校現場の要望はどのようなのか？
- (回答) エアコンについては、図書室等には設置されている。普通教室にも設置が望まれている。トイレについては学校側も50%の洋式化を望んでいる。

平成 28 年度町村議会議長・副議長研修会

平成 28 年 5 月 30 日・31 日に、全国の町村から議長・副議長が東京都中野サンプラザに集まり下記の研修を受けました。熊取町から重光議長と鱈谷副議長が参加しました。

- (1) 江藤俊昭山梨学院大学教授から、地方議会の役割と改革、議会と首長の政策競争の重要性、地域経営（総合計画）に視点をおいた活動、議会力の向上と議員報酬について
- (2) 長野県飯綱町議会寺島議長から、議員の学習会と自由討議を重ね議員の政策提案力を向上させた実績について
- (3) 神奈川県大磯町吉川議長から、先進事例の自治体視察、議員研修会開催、エネルギー活用振興条例制定、予算審議で付帯決議等について
- (4) 伊藤聡子事業創造大学院大学客員教授から、国内各地での地域経済活性化の取り組み事例紹介

議会報告会の予定

議会報告会全体会

8月28日(日) 午後7時30分～

会場:熊取交流センター

煉瓦館 コットンホール《担当:2班》

議会報告会班構成(○は班長)

1班	○河合 弘樹、浦川 佳浩 渡辺 豊子、服部 脩二 坂上 巳生男
2班	○佐古 員規、重光 俊則 坂上 昌史、二見 裕子 江川 慶子
3班	○矢野 正憲、文野 慎治 阪口 均、鯉谷 陽子

～定例会閉会後に各地区での議会報告と併せて全体会を実施しています。～

班	8月実施予定(6月議会報告)			
1	つつじヶ丘……8月27日(土)午前10時～ つつじヶ丘老人憩いの家 大原……8月27日(土)午後6時～ 大原老人憩いの家			
2	公社熊取……8月7日(日)午後1時30分～ 公社熊取集会所			
3	朝代……8月28日(日)午後1時～ 朝代公民館 久保……8月28日(日)午後7時～ 久保老人憩いの家			
班	28年11月実施予定 (9月議会報告)	29年2月実施予定 (12月議会報告)	29年5月実施予定 (3月議会報告)	29年8月実施予定 (6月議会報告)
1	五門 高田	大久保	新野田 長池	小垣内 小谷
2	翠松苑 南山の手台	池の台 つばさが丘	山の手台	希望が丘 熊取グリーンヒル
3	美熊台	若葉 五月ヶ丘	自由が丘 大宮	関空国際

町議会ホームページの紹介

町議会のホームページでは、議員名簿、議会傍聴、請願と陳情、定例議会の日程、質問などを公開しています。

また、会議録の閲覧、平成28年6月定例会の一般質問の録画映像も視聴できますのでご覧ください。

写真募集

議会だよりの表紙に使用する写真を募集します。

※写真は返却できません。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

TEL072-452-9023

編集後記

夏本番の本格的な暑さ到来。本年1月より新しい町長を迎え、はや半年。6月議会では肉付け補正予算が可決され、新しいまちづくりが本格始動しました。皆様にはできるだけ限り近い立場で、議会での審議の内容を、よりわかり易くお伝えするため、委員全員一丸で、気持ちを新たに、朝ドラで話題の「○○の手帖」の様な身近でお役に立てる情報誌を目指しますので、引き続き皆様からの様々なご意見ご要望をお願い致します。

広報委員会

委員長	鯉谷 陽子
副委員長	文野 慎治
委員	浦川 佳浩
委員	河合 弘樹
委員	二見 裕子
委員	佐古 員規
委員	江川 慶子